

TGP2

(ティージーピー2)

沈静サイトカインによる肌の過剰な炎症の根本ケア。アトピーや敏感肌の方にも

【特長】 炎症誘導因子の産生を遺伝子レベルから根本ブロック
TGF 由来の抗炎症ペプチド
ヒトオリゴペプチドより安全で、長期的な効果が期待

【コンセプト】

「**成長因子 (Growth Factor)**」とは、100 程度のアミノ酸で構成された**サイトカインの一種**です。現在までに 20 数種が確認され、体内で細胞の増殖や分化に極めて重要な働きを持つことが知られています。一部の成長因子は「**ヒトオリゴペプチド**」の表示名称で化粧品原料としても登録され、注目を集めています。

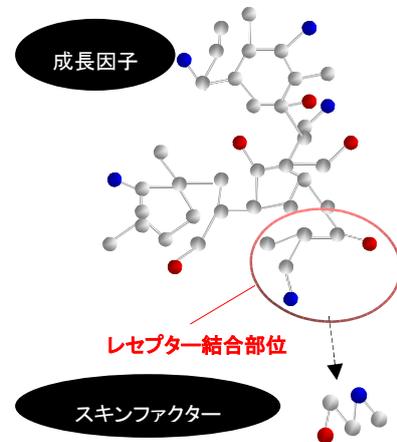
しかしながら、その強力な効果ゆえに、安全性は確かなものとはいえません。

TGF β は体内で増殖および代謝に関係する重要な役割を持つ成長因子です。この TGF β を安全に使用してもらうことをコンセプトに化学的に合成されたのが **TGP2** です。

TGP2 はシンプルなペプチド構造であり、**安全性**だけではなく、成長因子より配合量を多く添加できることにより、**持続性**に優れるという特徴があります。

TGF β は、IL(インターロイキン)-4、IL-10 などと共に**抗炎症性サイトカイン**として知られる**成長因子の一種**です。免疫システムを司るリンパ球の増殖に抑制的に働くため、炎症反応を沈静する役割を担います。

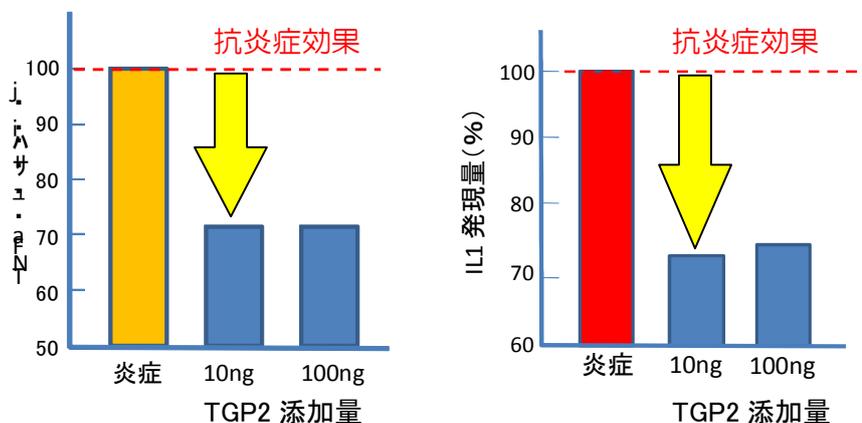
TGP2 には、TGF β 同様の炎症抑制効果があるだけでなく、アトピーやリウマチなどの免疫性疾患の原因として近年注目される **NFkB** をも抑制する効果があります。そのため、**デリケートな肌の改善に最適**です。



スキンファクターはサイトカインを元開発された

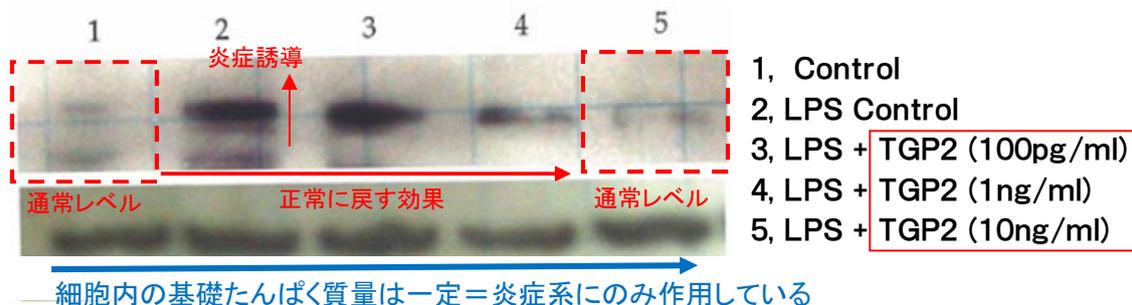
【効果・効能】

線維芽細胞を用い、炎症誘導因子(LPS)添加時と炎症誘導後、TGP2 添加時における炎症マーカー(TNF α 、IL1)の発現量の変化を観察しました。



皮膚細胞より分泌される炎症性因子 TNF、IL1の強力な抑制が確認

次に、アレルギーやアトピー性皮膚炎の医薬品開発のターゲットとしても、よく知られる免疫反応の根本シグナルである核内転写因子「NF κ B」(エヌエフカッパービー)についても同様に観察しました。



炎症により過剰に発現したシグナル NF κ B を TGP2 は濃度依存的に減少

TGP2 は、NF κ B を正常化することで、アトピーなど、敏感な肌の方にも効果が期待できます

* NF κ B は、免疫の中心因子のため、過剰に抑えるのではなく、通常レベルに戻すことが重要

【商品情報】

商品名： TGP2 (ティージーピー2)

表示名称： オリゴペプチド-34、水、BG

製造元： Caregen 社(韓国)